

2010年8月26日

各 位

イオンモール株式会社
オリックス自動車株式会社

イオンモールとオリックス自動車、 共同でカーシェアリングサービスの展開を開始

イオンモール株式会社（本社：千葉県千葉市、社長：村上 教行）とオリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：三谷 英司）は、大型ショッピングモールを拠点としたカーシェアリングサービスを共同で展開することになりましたので、お知らせいたします。

まずは、9月1日よりイオンモール新瑞橋（愛知県名古屋市南区）およびイオンモール鶴見リーファ（大阪府大阪市鶴見区）にて、10月1日には京都ファミリー（京都府京都市右京区）にてショッピングモール駐車場のカーステーション化を行います。イオンモールでは、パンフレットの設置やポスター掲示などを通じて、カーシェアリングサービスをご案内していきます。

低炭素社会への移行が全世界的な課題となっている中、イオンモールでは、CO₂排出量を減らしていくことがリーディングカンパニーとしての責務と考えています。これまでも太陽光発電用パネルや氷蓄熱システムの導入の他、屋上（壁面）緑化、サインや照明へのLED採用など、エコロジーを考えた設備の導入および自然エネルギーの活用に力を入れてまいりました。

今回、環境負荷低減に役立つカーシェアリングをショッピングモールに導入することで、周辺エリアの車の台数が減ることから、環境負荷の低減につながると考えています。さらにイオンモールでは、地域で生活する人々の、より豊かで彩りある暮らしの実現に貢献し続けることを存在意義と考えており、「コミュニティ機能の充実」「地域に根ざしたモール



（イオンモール新瑞橋 カーステーション）

づくり」に役立つと考え、今回の導入に至りました。

オリックス自動車は、2002年からカーシェアリング事業を展開し、現在は関東（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）、中部（愛知県、三重県）、近畿（京都府、大阪府、兵庫県）の各エリアにカーステーションを設置しています。カーシェアリングに使用する自動車から排出されるCO₂の全てを自社でオフセットしているだけでなく、自動車に備え付けのカーナビゲーションには走行時の燃費とCO₂排出量が表示され、お客さまのエコドライブ度も5段階で表示される専用車載システム（一部車種を除く）を導入するなど、環境に配慮したカーシェアリングを積極的に推進しています。

カーシェアリングは、必要なときに必要な分だけクルマを使うしくみのため、保有時にかかる車両代や駐車場代、保険料、税金、車検代などの維持費が不要となり、大幅なコスト削減に繋がります。また、カーシェアリングの普及により、過度な自動車利用が抑制され、環境負荷の低減にも繋がることから、ショッピングモール周辺にお住まいのお客さまにカーシェアリングをご利用いただくことで、お客さまの車にかかる費用の節約と、周辺エリアの環境負荷低減に貢献できるものと考えています。

イオンモールとオリックス自動車は、カーシェアリングの普及を通じ、地球温暖化をはじめとした環境問題に真摯に取り組んでまいります。また、今回のカーシェアリングにとどまらず、両社の強みを活かした新サービスの開発により、お客さま満足度の向上に努めてまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

イオンモール株式会社 経営企画部 広報 電話 043 - 212 - 6733

オリックス自動車株式会社 社長室 広報 電話 03 - 6436 - 6030

補足情報



【イオンモール新瑞橋】

住 所

愛知県名古屋市南区菊住 1 丁目 7-10

年間来館者数（目標）

約 1,200 万人

カーシェアリング車両数

3 台



【イオンモール鶴見リーファ】

住 所

大阪府大阪市鶴見区鶴見 4 丁目 17-1

年間来館者数

約 1,200 万人

カーシェアリング車両数

3 台



【京都ファミリー】

住 所

京都府京都市右京区山ノ内池尻町 1-1

年間来館者数

約 700 万人

カーシェアリング車両数

2 台

【カーシェアリングの利用手順】



携帯・iPhone・パソコン・電話で利用可能なステーション・車種を選び、予約する。



会員専用の IC カードを持って予約したステーションへ。



カードリーダーにカードをかざし、個人認証をし、予約の確認。予約の認証が完了すると、クルマのハザードが点滅し、利用可能な車両をお知らせ。もう一度 IC カードをかざすとドアロックが開錠。



車内に取り付けてあるグローブボックスから運転キーを【貸出】位置に回し、抜き取る。



エンジンをかけ出発。



帰着したら、エンジンを切って、運転キーを出発の時と同様、グローブボックスの【返却】の位置に戻す。



その後、液晶モニターで利用料金と走行距離が確認できる。



出発と同様に、IC カードをクルマにかざしてドアをロック。これで返却作業完了。